

令和6年度 学校だより

# あくのうら 5月

令和6年4月30日

長崎市立飽浦小学校

発行 校長 松尾伸章

ホームページアドレス [www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/](http://www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/)

立神山が萌黄色に輝いています。それぞれの樹々が若芽を出し、それぞれの色を主張しています。青柳、花萌黄、若葉色、若菜色、若緑、裏葉色、薄柳、若芽色、黄浅緑など、微妙に異なる緑色にそれぞれ名前があります。昔から日本では、緑系の色を80色以上、青系の色も70色ほど、わずかな違いを見分けながら、呼び名をつけてきました。立神山を見ていると、緑の多様性に改めて気付かされる5月です。

先日は、授業参観・懇談会及び育友会総会に、ご来校をいただきありがとうございました。子供たちはいつも頑張っていますが、やはり保護者の皆様に見てもらうことで、子供たちのやる気はさらに向上します。お家の人に頑張っているところを見てもらって、そして家に帰って褒めてもらいたいのが子供です。お家の人に認めてもらうことで、自己肯定感が高まり、今後の学習への取組方がますます向上します。今後も、機会あるごとに子供たちの頑張りを見に来ていただけるようお願いいたします。

## 【歓迎集会&遠足】

4月26日（金）、歓迎集会&遠足を実施しました。初めに、体育館で改めて1年生を紹介したり、それぞれの学級や先生方を1年生に紹介したりしました。そして、5年生がリードしながら「オオカミさん今何時？」や〇×ゲームで、みんなで仲良く楽しく遊びました。あくのうらっ子らしい、あったかな歓迎集会でした。みんなが1年生を歓迎していました。そして、雨の心配はありましたが、せっかくなので、思い切って遠足に出発しました。やはり、途中で小雨が降ってきたため、予め準備しておいた貸出用の傘を子供たちに配りました。そして、県立美術館の軒下をお借りして、みんなで楽しい話とお弁当の時間をつくることができました。小規模校だからこそできたことです。臨機応変の対応をしやすいのも小規模校の強みです。残念ながら、水辺の森公園では遊ぶことができませんでした。それほど雨に濡れることもなく、思い出に残る楽しい雨の遠足となりました。幸いにも、天候のおかげで、歩くのには疲れ方も少なく、1年生も無事に自分で歩き、行って帰ってくることができました。よく頑張りました。歩くときは手をつなぎ、やさしく声をかけ、弁当も一緒に食べ、1年生にずっと付きっ切りでお世話していた6年生の姿が、何とも頼もしく、あったかかったです。

## 「団結」

4月18日（木）の代表委員会では、運動会のスローガンについて話し合いが行われました。今年度のスローガンは、文ではなく、言葉にこだわって作りしました。今年度初めての代表委員会でしたが、4・5・6年生のどの学年も積極的に意見を出し合い、最後まで「団結」と「協力」で、しっかりと議論し合うことができました。結果は、上記の通り「団結」となりましたが、しっかりと議論し合うことで、どの学年の考えも取り込んだ素晴らしいスローガンとなりました。

5月26日（日）に、今年度の運動会を予定しています。学校では、このスローガンをもとに、明日から運動会の練習が始まります。今年度も、子供たちにとって、満足感と達成感が残る運動会となるよう全職員で指導を進めていきます。保護者の皆様には、水分補給用のお茶の量を多くするなど、お子様の健康面へのご配慮をお願いします。また、当日の頑張りはもちろんのこと、大切なのはそれまでの過程です。子供たちの頑張っている話に耳を傾け、その頑張りをおたくさん褒めてあげてほしいと思います。

お子様が、運動会への取組を通して、心も体もひとまわり成長できるよう、学校と家庭で協力をしていきましょう。どうぞよろしくをお願いします。

## 【5月の行事予定】

- 1日(水) 安全の日 全校集会
- 2日(木) チャレンジタイム(国語検定) 委員会活動
- 3日(金) <憲法記念日>
- 4日(土) <みどりの日>
- 5日(日) <こどもの日>
- 6日(月) <振替休日>
- 8日(水) 尿検査③ 心の時間 耳鼻科検診(14:00~1・3・5年)
- 9日(木) ピースデイ チャレンジタイム(ソーラン節) クラブ活動
- 10日(金) 心電図検査(9:00~1年) 運動会全体練習(3校時)
- 13日(月) 応援練習(昼の活動)
- 14日(火) 運動会全体練習(3校時)
- 15日(水) 児童集会(昼の活動) 内科検診(14:00~全学年)
- 16日(木) チャレンジタイム(運動会開閉会式)
- 17日(金) 運動会全体練習(3校時) 応援練習(昼の活動)
- 19日(日) (家庭の日)
- 20日(月) 応援練習(昼の活動) 運動会係打合せ(6校時 4・5・6年)
- 22日(水) 運動会係練習(1・2校時 全学年)
- 23日(木) チャレンジタイム(応援)
- 24日(金) 運動会会場設営(5・6校時 4・5・6年)
- 26日(日) 運動会
- 27日(月) 運動会代休日
- 28日(火) 運動会予備日(全校弁当の日)
- 29日(水) フッ化物洗口開始 歯科検診(9:00~全学年) 全校集会(昼の活動)
- 30日(木) チャレンジタイム(算数検定) 集団下校
- 31日(金) 眼科検診(13:00~1・4・6年)

## 《校長室の窓から》

もうずいぶん前のことですが、ある食事処に家族で行った時、ちょうど両隣に、同じような家族構成のファミリーが入ってきました。それぞれ、おそらく高校生ぐらいと中学生ぐらいだと思われる子供がいて、休日の夜の家族団らんなのでしょう、両親と一緒に食事に来ていました。その高校生ぐらいと思われる子は、どちらも手に携帯(スマホ)を持っていました。

一方の子は、席に着くと同時に携帯をポケットにしまいました。一方の子は、変わらず携帯をいじっていました。ポケットにしまった子は、両親や妹と笑顔で会話を楽しんでいるようでした。しかし、携帯から目を離さない方の家族は、会話もありません。それどころか、中学生ぐらいの子も携帯を取り出して、いじり始めていました。

コミュニケーションツールとしての携帯(スマホ)が、目の前の大切な人とのコミュニケーションを妨げている、何とも象徴的な光景でした。

コロナ禍に入るとすぐに、閣議決定された令和元年度補正予算案において、児童生徒向けの一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が盛り込まれました。GIGAスクール構想により、学校では子供たちに一人一台端末(クロムブック)が整備され、令和3年4月から、実際に子供たちがクロムブックを使用して学習するようになりました。クロムブックは学習のためのツール(道具)として整備されました。とても便利になりました。

子供たちが、これからの未来を生き抜くためには、ICTの活用能力を高める必要があることは言うまでもありません。しかし、クロムブックも携帯(スマホ)も使い方を間違えれば、とても危険なツール(道具)になってしまうことも忘れてはなりません。

道具には、どの道具にも、時と場に応じた使い方があるはずで、子供たちに、それを教えていけるのは、やはり人(大人)なのだと、校長室の窓の外を眺め、一人考えています。